

東久留米市障害者施策に関する アンケート調査について

みなさまには、日頃より障害福祉行政にご理解とご協力をいただき、お礼申し上げます。

このアンケートは、令和3年度を初年度とする「東久留米市障害者計画・第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画」の施策を検討するため基礎資料となります。

アンケートの対象者は、市内にお住まいで障害に関する手帳をお持ちの方、障害福祉サービスを利用されている方、障害児通所支援を利用されている方にお送りしており、現状の把握およびニーズ分析をしたいと思います。

つきましては、お忙しいところ大変恐縮ですが、令和2年●月●日(●)までにアンケートのご回答をお願いします。

令和2年●月

市長 並木克巳

※ なお、お答えいただいた内容は、プライバシーの保護に万全を期すとともに、アンケート結果の集計以外には使用いたしません。

●記入について

・事情によりご本人が記入できない場合は、ご家族の方などがご本人の立場にたってご記入ください。

・回答は、あてはまる番号を「○」で囲んでください。

●調査票の返信について

・ご記入された調査票は、同封の返信用封筒に入れ、令和2年●月●日(●)までに投函してください。

お問い合わせ先

東久留米市 障害福祉課

TEL : 042-470-7747

FAX : 042-475-8181

あなた（あて名のご本人）自身について

とい
問1 この調査票にご回答いただくのは、どなたですか。（○は1つ）

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1 あて名ご本人 | 2 ご家族や支援者が本人に聞いて代筆 |
| 3 ご家族や支援者が本人の意向を考えて代筆 | 4 その他（ ） |

※これ以降、この調査票が郵送された宛名の方を「あなた」とお呼びしますので、ご本人（アンケートの対象者＝障害のある方）の状況などについて、お答えください。

とい
問2 あなたの性別は、次のうちどれですか。（○は1つ）

- | | | |
|------|------|-------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他 |
|------|------|-------|

とい
問3 あなたの年齢（令和2年●月●日現在）をお答えください。

（ ）歳

とい
問4 あなたのお住まいをお聞きます。（○は1つ）

- | |
|--------------------------------------|
| 1 第1ブロック（上の原、神宝町、金山町、氷川台） |
| 2 第2ブロック（大門町、新川町2丁目、浅間町） |
| 3 第3ブロック（東本町、新川町1丁目、本町） |
| 4 第4ブロック（小山、幸町、下里1丁目と7丁目、野火止、八幡町1丁目） |
| 5 第5ブロック（中央町、八幡町2～3丁目、前沢1～2丁目） |
| 6 第6ブロック（学園町、ひばりが丘団地、南沢、南町） |
| 7 第7ブロック（前沢3～5丁目、滝山、弥生） |
| 8 第8ブロック（下里2～6丁目、柳窪） |
| 9 市外（入所施設、グループホーム等） |

とい
問6 あなたはどのような暮らし方をしていますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1 家族と暮らしている | 2 一人暮らしをしている |
| 3 グループホーム等で暮らしている | 4 施設に入所している |
| 5 その他（ ） | |

「1 家族と暮らしている」か「2 一人暮らしをしている」に○をつけた方にお聞きします。

問6-1 あなたの住まいの種類はどれですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 持ち家の戸建て住宅 | 2 持ち家の集合住宅(マンション) |
| 3 賃貸の戸建て | 4 賃貸の集合住宅(アパート等) |
| 5 公営住宅(都営・公社住宅) | 6 社宅・公務員住宅等 |
| 7 その他() | |

あなたの障害の状況について

問5 あなたの持っている手帳の種類と等級、診断の有無をお聞きします。あてはまる手帳の番号と、カッコ内の等級(度数)に○印をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

1 身体障害者手帳	(1級 2級 3級 4級 5級 6級)
2 愛の手帳(療育手帳)	(1度 2度 3度 4度)
3 精神障害者保健福祉手帳	(1級 2級 3級)
4 発達障害の診断を受けている	
5 難病の認定を受けている	

難病の認定：この場合、東京都の難病医療費助成を受給している方を指します。

「1 身体障害者手帳」に○をつけた方にお聞きします。

問5-1 障害の種類は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|------------------|
| 1 肢体不自由 | 2 音声・言語・そしゃく機能障害 |
| 3 視覚障害 | 4 聴覚・平衡機能障害 |
| 5 内部障害(心臓機能障害、腎臓機能障害、呼吸器機能障害、膀胱・直腸機能障害、小腸機能障害、免疫機能障害、肝臓機能障害) | |

○【H26 調査】あなたは普段の生活で介助を必要としていますか。介助が必要な方は、主な介助者の方をお答えください。(1つに○)

1 親(父・母)	2 配偶者(夫・妻)	3 子(子の配偶者を含む)
4 祖父母	5 兄弟姉妹	6 その他の親族
7 近隣の人・知人・友人	8 ホームヘルパー	9 ボランティア
10 施設・病院等の専門介助者	11 介助は必要ない	12 その他()

○【H26 調査】^{ふだん}普段から、^{かぞく}家族・^{しんぞく}親族の方が^{かた}介助している方にお聞きします。^{おも}主な^{かいじょしゃ}介助者の方が^{かた}困っていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1 代わりの介助を頼める人がいない | 2 休養や息抜きの時間がない |
| 3 長期の旅行や外出ができない | 4 仕事に出られない |
| 5 介助者自身の健康に不安がある | 6 身体的な負担が大きい |
| 7 精神的な負担が大きい | 8 経済的な負担が大きい |
| 9 特に困っていることはない | 10 その他（ ） |

★【新規】あなたは、^{いりようてき}医療的な^{しえん}支援（^{いりようてき}医療的ケア）を^う受けていますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---|---|
| 1 ^う 受けていない | 2 ^{けいかんえいよう} 経管栄養（ ^{りゅうち} 留置チューブ・ ^い 胃ろう・ ^{ちょう} 腸ろう） |
| 3 ^{きゅういん} 吸引（ ^{こうびこうない} 口鼻腔内・ ^{ない} エアウェイ内・ ^{きかんない} 気管内） | 4 ^{さんそかんり} 酸素管理 |
| 5 ^{かんり} エアウェイの管理 | 6 ^{どうよう} 導尿 |
| 7 ^{きかんせつかいぶ} 気管切開部の ^{えいせいかんり} 衛生管理 | 8 ^い 胃ろう・ ^{ちょう} 腸ろう部の ^{えいせいかんり} 衛生管理 |
| 9 ^{ていじ} 定時の ^{やくえききゅうにゅう} 薬液吸入 | 10 ^{じんこうこきゅうき} 人工呼吸器の ^{さどうじょうきょう} 作動状況の ^{かくにん} 確認および |
| 11 その他（ ） | ^{きんきゅうじ} 緊急時の ^{れんらくどう} 連絡等 |

日常生活について

問 18 あなたには、日常生活で困っていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--|---|
| 1 ^{ちりょう} 治療・ ^{くんれん} 訓練のこと | 10 ^{ふくし} 福祉サービスに ^{かん} 関すること |
| 2 ^{しごと} 仕事や ^{しゅうにゅう} 収入・ ^{せいかつひ} 生活費のこと | 11 ^{しんがく} 進学・ ^{がっこうせいかつ} 学校生活のこと |
| 3 ^{にちじょうかいわ} 日常会話・ ^{コミュニケーション} コミュニケーションのこと | 12 ^{こうつうきかん} 交通機関の ^{りよう} 利用に ^{かん} 関すること |
| 4 ^{がくしゅうかつどう} 学習活動や ^{しゅみ} 趣味の ^{かつどう} 活動など | 13 ^{きんせんかんり} 金銭管理・ ^{けいやく} 契約などのこと |
| 5 ^{ゆうじんかんけい} 友人関係、 ^{きんじょ} 近所づきあい | 14 ^{しんたい} 身体・ ^{けんこう} 健康のこと |
| 6 ^{しょうらい} 将来の ^{せいかつ} 生活のこと | 15 ^{けっこん} 結婚、 ^{せい} 性、 ^{れんあい} 恋愛などに ^{かん} 関すること |
| 7 ^{がいしゅつ} 外出・ ^{かもの} 買い物など | 16 ^{おや} 親や ^{かいじょしゃ} 介助者の ^{こうれいか} 高齢化のこと |
| 8 ^{ほけん} 保健・ ^{いりよう} 医療サービスに ^{かん} 関すること | 17 その他（ ） |
| 9 ^{じゅうたく} 住宅・ ^{せいかつ} 生活の ^{ばしょ} 場所のこと | 18 ^{とく} 特にない |

問 17 あなたは今後、どのような生活の場で暮らしたいと思いますか。（○は1つ）

1 家族と暮らしたい	2 一人暮らしをしたい
3 グループホームで生活したい	4 障害者のための入所施設で生活したい
5 わからない	6 その他（ ）

○【H26 調査】あなたは、普段どれくらい外 出 しますか。（○は1つ）

1 ほぼ毎日	2 週に数回
3 月に数回	4 ほとんど外出しない

○【H26 調査】普段外 出 するときに、困ることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1 バスや電車などの公共交通機関が少ない、またはない	
2 バスや電車などの乗り降りが難しい	3 道路や駅に階段や段差が多い
4 切符の買い方や乗換えがわかりにくい	5 トイレやエレベーターなどの建物の設備が不便
6 介助者が確保できない	7 交通費（運賃など）にお金がかかる
8 ヘルパーの利用料などにお金がかかる	9 周囲の目が気になる
10 周囲の人からの配慮・手助けがない	11 発作など突然の体調不良が心配
12 困った時にどうすればよいか心配	13 休憩できる場所が少ない
14 その他（ ）	15 特にない

★【新規】あなたが生活していく上での収入は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1 勤め先の給与・賃金	2 通所施設・事業所などの賃金・工賃
3 事業収入（自営業など）	4 財産収入（家賃収入など）
5 年金・手当など	6 家族の収入・親戚などの援助
7 生活保護費	8 その他（ ）

障害への理解について

問 15 お住まいの地域及び職場で、障害者への理解が 10 年前に比べて深まっていると思いますか。（○は 1 つ）

1 はい	2 いいえ	3 わからない
------	-------	---------

問 12 あなたは、ヘルプカード、ヘルプマークを知っていますか。（それぞれに○は 1 つ）

①ヘルプカード	1 内容まで知っていた	2 名前を聞いたことがある	3 知らなかった
②ヘルプマーク	1 内容まで知っていた	2 名前を聞いたことがある	3 知らなかった

ヘルプカード・ヘルプマーク

市では、障害のある方や難病に罹患している方が、日常で困った際に、また災害時や緊急時に、周囲の人に支援や配慮をお願いしやすくするため、ヘルプカードを作成しました。ヘルプマークは、都が普及を進めているもので、基本デザインは都内共通となっています。

問 13 「障害者虐待防止法」により、家庭、職場及び障害者施設において障害者（児）の虐待を発見した市民には、通報義務があることを知っていましたか。（○は 1 つ）

1 知っていた	2 知らなかった
---------	----------

問 14 あなたは、「障害者差別解消法」について知っていましたか。（○は 1 つ）

1 内容まで知っていた	2 名前を聞いたことがある	3 知らなかった
-------------	---------------	----------

★【新規】障害者（児）に対する差別・偏見があると思いますか。（○は 1 つ）

1 ある	2 ない
------	------

「1 ある」を選んだ人におたずねします。

★【新規】障害者（児）に対する差別・偏見、または理解のなさはどのようなところにあると思いますか。具体的な内容もお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1 仕事	6 教育の機会
2 建物の構造	7 お店等の店員の対応や態度
3 地域の人との接し方や態度	8 行政職員の対応や態度
4 収入	9 保育所や学校の対応
5 交通機関	10 その他（具体的に：_____）
具体的に：	

★【共通・新規】あなたは、地域の人たちの障害に対する理解を進めていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（3つまで○）

- 1 地域行事への障害者の参加を促進する等、地域住民等との交流の場を増やすこと
- 2 学校でのインクルーシブ教育※や障害に関する教育の推進
- 3 障害についての正しい知識の普及啓発のための講演会等の開催
- 4 障害者作品展や障害者と交流するイベントの開催
- 5 障害者の生活や障害についての正しい知識等を伝えるリーフレットの発行
- 6 障害者の一般企業への就労の促進
- 7 その他（ ）
- 8 特になし

※障害の有無にかかわらず、誰もが望めば自分に合った配慮を受けながら、地域の通常学級で学べることを目指すこと

地域での生活について

★【新規】あなたは、普段、近所の方とどの程度おつきあいをしていますか。（○は1つ）

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 家を行き来するつきあい | 2 立ち話をする程度のつきあい |
| 3 あいさつをする程度のつきあい | 4 ほとんどつきあいはない |

○【H26 調査】障害者が入所施設で生活するのではなく、今後、住み慣れた地域で暮らしていくことについてどう思いますか。（あてはまるものひとつに○）

- | | |
|------------------|----------|
| 1 特に問題はない | 3 その他（ ） |
| 2 地域で暮らすのは難しいと思う | 4 わからない |

地域移行

障害者基本法では、全ての障害者は、可能な限り、どこで誰と生活するかについての選択の機会が確保され、地域社会において他の人々と共生することを妨げられないことを旨として、障害者施策を講じることとされています。これにより、本人の希望に沿って入所・入院施設から一般の住居やグループホーム等に生活の拠点を移していくことを、「地域移行」といいます。

○【H26 調査】あなたは、障害のある人が地域で生活していくためには何が必要だと思いますか。（特に必要と思われるもの3つに○）

1 地域生活やサービス利用に関する相談支援	7 利用しやすい医療機関
2 訪問系サービスの充実	8 一般就労するための支援
3 日中の活動・訓練場所や作業所の充実	9 交通機関や施設などのバリアフリー化
4 グループホームの拡充	10 地域の人たちの障害に対する理解
5 手話などによるコミュニケーションの支援	11 特に必要なことはない
6 障害者のための住宅の確保	12 その他（ ）

訪問系サービス

居宅介護（ホームヘルプ）や行動援護（主に知的障害がある方が外出する際のガイドヘルプ）など、サービス提供者が利用者の自宅等を訪問して提供されるサービスです。

★【新規】あなたは、相手とコミュニケーションをする時や必要な情報を利用する時に、特にどのような場合に困難を感じますか。（あてはまるすべてに○）

1 飲食店を利用する時	6 買い物をする時
2 初めて行くところに出かける時	7 スポーツやレクリエーションに参加する時
3 銀行を利用する時	8 家を探す時
4 病院にかかった時	9 仕事をする時
5 旅行をする時	10 その他（ ）

○【H26 調査】あなたは、成年後見制度について知っていますか。また、利用したことはありますか。（あてはまるものひとつに○）

1 知っており、利用したことがある	3 知らない
2 知っているが、利用したことはない	

成年後見制度

認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力の不十分な方々は、不動産や預貯金などの財産を管理したり、身のまわりの世話のために介護などのサービスや施設への入所に関する契約を結んだり、遺産分割の協議をしたりする必要があっても、自分でこれらのことをするのが難しい場合があります。また、自分に不利益な契約であってもよく判断ができずに契約を結んでしまい、悪徳商法の被害にあうおそれもあります。このような判断能力の不十分な方々を保護し、支援するのが成年後見制度です。

社会参加について

★【新規】これまでに余暇活動、文化芸術・スポーツ活動など、参加したことがあるもの
はありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | | |
|---|-----------------------|----|-----------------|
| 1 | コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学 | 2 | スポーツ活動 |
| 3 | 旅行 | 4 | 学習や趣味の活動 |
| 5 | ボランティアなどの社会貢献活動 | 6 | 地域での交流、自治会などの活動 |
| 7 | 障害者団体などの活動 | 8 | パソコンを使った活動 |
| 9 | その他（ ） | 10 | 特にない |

★【新規】今後参加したい余暇活動、文化芸術・スポーツ活動はありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | | |
|---|-----------------------|----|-----------------|
| 1 | コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学 | 2 | スポーツ活動 |
| 3 | 旅行 | 4 | 学習や趣味の活動 |
| 5 | ボランティアなどの社会貢献活動 | 6 | 地域での交流、自治会などの活動 |
| 7 | 障害者団体などの活動 | 8 | パソコンを使った活動 |
| 9 | その他（ ） | 10 | 特にない |

★【新規】あなたが社会活動、余暇活動に参加するためには、どのような条件が必要だと思えますか。（3つまで○）

- | | | | |
|----|---------------------------------------|----|---|
| 1 | 活動情報の提供がある
かつどうじょうほう ていきょう | 2 | 友人や仲間がいる
ゆうじん なかま |
| 3 | 身近なところで活動できる
みぢか かつどう | 4 | 外出手段が確保されている
がいしゅつしゅだん かくほ |
| 5 | 介助者がいる
かいじょしゃ | 6 | 適切な指導者やリーダーがいる
てきせつ しどうしゃ |
| 7 | 障害に配慮した施設や設備がある
しょうがい はいりょ しせつ せつび | 8 | 経済的な負担が少ない
けいさいてき ふたん すく |
| 9 | 家族や周囲の人の理解
かぞく しゅうい ひと りかい | 10 | 心身の健康状態の維持・向上
しんしん けんこうじょうたい い じ こうじょう |
| 11 | いろいろな人との出会いの場・機会がある
ひと で あ ば きかい | 12 | 障害のある人もない人も一緒にできる
しょうがい ひと ひと いっしょ |
| 13 | 施設の予約が取りやすい
しせつ よやく と | 14 | その他（ た ） |
| 15 | 特にない
とく | | |

さいがい そな 災害への備えについて

○【H26 調査】^{かじ}火事、^{たいふう}台風や^{じしん}地震などが起こったとき、^{しょう}障害があることで^{こま}困ること、^{しんぱい}心配なことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 どのように対応すべきか自分で判断できない
- 2 周りの人に援助を^{もと}求めることができない
- 3 ^{あんぜん}安全なところまで、^{ひなん}すばやく避難できない
- 4 ^ほ補装具（^{くるま}車いす、^{ほちようき}補聴器、^{はくじよう}白杖、^{ぎそく}義足など）が^{しょう}使用しづらくなる
- 5 ^ほ補装具（^{くるま}車いす、^{ほちようき}補聴器、^{はくじよう}白杖、^{ぎそく}義足など）や^{にちじようせいかつようぐ}日常生活用具を手に入れにくくなる
- 6 必要な^{ちりよう}治療・^う医療的ケアが^{くすり}受けられない、^{くすり}薬がもらえない
- 7 ^{ひがいじようきよう}被害状況、^{ひなんばしょ}避難場所などの^{じようほう}情報が^て手に入れない
- 8 ^{ひなんじょ}避難所での^{ふあん}集団生活が不安
- 9 ^{しゅうい}周囲とコミュニケーションがとれない
- 10 ^{とく}特にない
- 11 その他（ ）

問20 ^{ひなん}避難を手助けしてくれる人はいますか。また、それはどなたですか。

^{てだす} 手助けしてくれる人	それはどなたですか(あてはまるものすべてに○)	
1 いる	1 ^{かぞく} 家族	2 ^{ちか} 近くに ^す 住む ^{しんぞく} 親族
2 いない	3 ^{しせつ} 施設の ^{しょくいん} 職員	4 ^{となりきんじょ} 隣近所の ^{じゅうみん} 住民
3 わからない	5 ^{じしゅぼうさいかい} 自主防災会の人	6 ^{じちかい} 自治会の人
	7 ^{みんせい} 民生委員 ^{いんじどう} 児童委員	8 その他（ ）

○【H26 調査】災害時要援護者登録制度を知っていますか。また、登録はしていますか。
(あてはまるものひとつに○)

- 1 知っており登録している
- 2 知っているが自分で避難できるので登録はしていない
- 3 知っているが家族が助けてくれるので登録はしていない
- 4 知っているが他人に迷惑をかけたくないので登録はしていない
- 5 知っているが他人に自分の障害を知られたくないので登録はしていない
- 6 知らない

災害時要援護者登録制度

災害時に、家族等の支援が困難で何らかの助けを必要とする重度の障害者やひとり暮らし高齢者などの災害弱者（災害要援護者）を登録し、災害が起きた時に地域の方から支援を受けられるようにするための制度です。

○【H26 調査】災害時、身近な人や地域に向けて「あなたが出来る支援」は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------|-----------|
| 1 安否確認・声かけ | 2 家族への連絡 |
| 3 安全な場所への避難誘導 | 4 応急手当 |
| 5 情報提供 | 6 相談・話し相手 |
| 7 その他（ | ） |
| 8 協力（支援）は困難 | 9 わからない |

障 害 福 祉 サービス など について

問 21 あなたは普段、次のような障害福祉サービスを利用していますか。また、今後利用したいと思いますか。

区 分		利用して おり、今後 も利用し たい	今は利用 してない が、3年 以内に利 用したい	利用の予 定はない
訪問系サービス ほうもんけい	① ① 居宅介護（ホームヘルプ） きょたくかいご	1	2	3
	② ② 重度訪問介護 じゅうど ほうもんかいご	1	2	3
	③ ③ 同行援護 どうこうえんご	1	2	3
	④ ④ 行動援護 こうどうえんご	1	2	3
	⑤ ⑤ 重度障害者等包括支援 じゅうどしょうがいしゃとうほうかつしえん	1	2	3
通所系サービス つうしよけい	① ① 生活介護 せいかつかいご	1	2	3
	② ② 自立訓練（機能訓練・生活訓練） じりつくんれん きのうくんれん せいかつくんれん	1	2	3
	③ ③ 就労移行支援 しゅうろう いこうしえん	1	2	3
	④ ④ 就労継続支援（A型） しゅうろうけいぞくしえん がた	1	2	3
	⑤ ⑤ 就労継続支援（B型） しゅうろうけいぞくしえん がた	1	2	3
	⑥ ⑥ 就労定着支援 しゅうろう	1	2	3
	⑦ ⑦ 療養介護 りょうようかいご	1	2	3
	⑧ ⑧ 短期入所（ショートステイ） たんきにゅうしょ	1	2	3
	⑩ ⑩ 児童発達支援（医療型含む） じどうはつたつしえん いりょうがたふく	1	2	3
	⑪ ⑪ 放課後等デイサービス（医療型含む） ほうかごとう いりょうがたふく	1	2	3
	⑫ ⑫ 保育所等訪問支援 ほいくしやうほうもんしえん	1	2	3

区 分		利用しており、今後も利用したい	今は利用していないが3年以内に利用したい	利用の予定はない
ス 居住系サービス	①自立生活援助 じりつせいかつえんじょ	1	2	3
	②共同生活援助（グループホーム） きょうどうせいかつえんじょ	1	2	3
	③施設入所支援 しせつにゅうしょえん	1	2	3
その他	①相談支援事業	1	2	3
	②意思疎通支援事業 （主に聴覚障害者への手話通訳の派遣）	1	2	3
	③日常生活用具給付等事業	1	2	3
	④移動支援事業（外出時のガイドヘルプ）	1	2	3
	⑤日中一時支援事業（緊急一時保護）	1	2	3
	⑥補装具費（車いす・補聴器等）の給付	1	2	3

問 22 あなたには、ふだん 普段の障害福祉サービスの利用に関して困っていることがありますか。
（あてはまるものすべてに○）

1 制度がわかりにくい	2 利用したいサービスを利用できない
3 利用できる回数や日数が少ない	4 サービスの質について困っている
5 他の利用者との関係が大変	6 市役所での手続きが大変
7 事業者との日時などの調整が大変	8 事業所への移動が大変
9 特に困っていることはない	10 特に困っていることはない

問 23 あなたは、ふだん 普段受けている障害福祉サービスに、満足していますか。（○は1つ）

1 必要なサービスを受けられており大いに満足
2 ほぼ必要なサービスを受けられており満足
3 ほぼ必要なサービスを受けられているがサービスの質に満足できない
4 必要なサービスが十分に受けられず不満足
5 受けたいサービスが地域になく不満足
6 現在は特にサービスを受ける必要がないので利用していない

「4」か「5」に○をつけた方にお聞きします。

問 23-1 地域の中で、障害者（児）に関するサービスのうち何が不足していると思いますか。

40 歳以上の方にお聞きします

★【新規】介護保険による認定を受けていますか。要介護・要支援認定を受けている方は該当する要介護度（要支援）に○をつけてください。（○は1つ）

- | | | |
|-------------|---------|---------|
| 1 認定を受けていない | 2 要支援 1 | 3 要支援 2 |
| 4 要介護 1 | 5 要介護 2 | 6 要介護 3 |
| 7 要介護 4 | 8 要介護 5 | |

40 歳以上の方にお聞きします

問 25-1 介護保険のサービスを受けるにあたり、不安に思うことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|-----------------------------------|
| 1 利用者負担が増えること |
| 2 利用時間が少なくなること |
| 3 これまで利用していた事業所が使えなくなること |
| 4 これまで利用していた障害福祉の類似サービスよりも質が下がること |
| 5 その他（ ） |
| 6 特になし |

こよう しゅうろう 雇用・就労について

あなた(宛名のご本人)が 18 歳以上の場合のみお答えください

○【H26 調査】あなたは普段、平日の日中をどのように過ごしていますか。（○は1つ）

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 正社員として働いている | 2 パート・アルバイトなどで働いている |
| 3 自営業などを営んでいる | 4 福祉的就労をしている（福祉作業所など） |
| 5 福祉的就労以外の通所施設に通っている | 6 自宅で家事や手伝いをしている |
| 7 学校などに通っている | 8 就業訓練中・就職活動中 |
| 9 その他（ ） | 10 特に何もしていない |

「1」～「4」に○をつけた方にお聞きします。

○【H26 調査】あなたが仕事をする上で困っていることはなんですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1 給与・工賃などの収入が少ない | 2 通勤がたいへん |
| 3 身体的な負担が大きい | 4 精神的な負担が大きい |
| 5 障害に対する職場の理解が不足している | 6 職場の人間関係 |
| 7 仕事が自分には合わない | 8 特に困っていることはない |
| 9 その他（ ） | |

「5」～「6」、「10」に○をつけた方にお聞きします。

○【H26 調査】あなたが働いていない理由はなんですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 障害や病気が重いから | 2 高齢だから |
| 3 自分に合った仕事が見つからないから | 4 希望に合った求人が見つからないから |
| 5 働くための知識や能力に自信がないから | 6 職場の障害理解に不安があるから |
| 7 通勤が困難だから | 8 仕事以外のことをしたいから |
| 9 わからない | 10 その他（ ） |

全ての方にお聞きします。

★【新規】あなたは、就^{しゅう}労^{ろう}していくためには、どのような支^し援^{えん}が必要だと思^{ひつ}いますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 仕事探しから就労までの総合的な相談支援
- 2 働くための知識や能力を身につけるための訓練
- 3 職場を理解するための就労体験
- 4 障害の特性にあった職業・雇用の拡大
- 5 障害に対する理解を深めるための職場への働きかけ
- 6 職場のバリアフリー化
- 7 障害や病気などに応じた柔軟な勤務体制
- 8 ジョブコーチや介助者などの職場に定着するための支援
- 9 その他（

障害児福祉について

宛名のご本人が 18 歳未満の場合のみお答えください。

★【新規】お子さん（宛名のご本人）は普段、平日の日中をどのように過ごしていますか。
（○は1つ）

- | | |
|----------------------------|--|
| 1 幼稚園、保育所、障害児通園施設などに通っている | |
| 2 特別支援学校（小中高等部）に通っている | |
| 3 小学校、中学校、高等学校（2を除く）に通っている | <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-top: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 1 特別支援学級
2 通常学級・通級 </div> |
| 4 自宅で過ごしている | |
| 5 入所している施設や病院などで過ごしている | |
| 6 その他（ | ） |

★【新規】お子さん（宛名のご本人）の障害に気づいたきっかけは何でしたか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1 病院などの医療機関による受診・健診 | 2 市が実施する健診 |
| 3 小学校で実施する就学時健康診断 | 4 保育園・幼稚園の助言 |
| 5 学校の助言 | 6 家族による気づき |
| 7 その他（ | ） |

★【新規】お子さん（宛名のご本人）は普段、放課後や夏休みなどの長期休暇では、主にどのような場所で過ごしていますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------|----------|
| 1 幼稚園、保育所 | 2 学童クラブ |
| 3 児童館 | 4 プレーパーク |
| 5 放課後等デイサービス | 6 公園等 |
| 7 学校の部活動 | 8 塾・習い事 |
| 9 地域のスポーツクラブ | 10 自分の家 |
| 11 友達の家 | 12 その他（ |

★【新規】幼稚園、保育所、通園施設などに通ううえで重要と思われるものをお答えください。（○は3つ）

- 1 送迎など、通園・通学のサポート
- 2 学習支援や介助など、園・学校生活のサポート
- 3 生活訓練や職業訓練など、専門的な指導
- 4 投薬や喀痰(かくたん)吸引など、医療的なケア
- 5 福祉サービス事業所など、外部の支援機関との連携
- 6 子ども同士の理解を深める交流機会を増やす
- 7 保育施設や学校施設のバリアフリー化
- 8 就学相談や進路相談を積極的に行う
- 9 通常の学級への受け入れを進める
- 10 放課後や夏休み等の一時預かりができる場所を増やす
- 11 その他（ ）

★【新規】今の学校の卒業後について、希望する進路はどれですか。（○は1つ）

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1 訓練や作業指導を受けられる施設に通いたい | 2 入所して、訓練などを受けたい |
| 3 企業などへ就職したい | 4 職業訓練校で訓練を受けたい |
| 5 上級学校に進学したい | 6 その他（ ） |
| 7 まだ考えていない | |

★【新規】保護者の方は、お子さん（宛名のご本人）の現在または将来について、どのような不安や悩みを抱えていますか。（3つに○）

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 本人の習熟度にあった勉強指導 | 9 長期休暇時の子どもの過ごし方 |
| 2 学校での集団生活や人間関係 | 10 通学時の送迎 |
| 3 学校生活に関する相談 | 11 適性に合った就職先の紹介 |
| 4 適性に合った進路の相談支援 | 12 就職に必要な技術等の訓練の機会 |
| 5 進学等の環境変化に伴う本人の適応性 | 13 就職に関する総合的な相談支援 |
| 6 進学時における教員間での引継ぎ | 14 その他（ ） |
| 7 教職員の障害に対する理解 | 15 特にない |
| 8 教育・保育施設での医療的ケアの対応 | |

東久留米市の^{しょう}障害^{ふくし}福祉^{さく}施策について

問7 福祉に関する情報は、主にどこから得ていますか。(〇は3つまで)

1 市や社会福祉協議会等の広報紙	2 声の広報
3 テレビやラジオ	4 新聞・雑誌
5 インターネット	6 障害者団体
7 民生委員・児童委員、身体・知的障害者相談員	8 ホームヘルパー
9 家族・親戚	10 友人・知人
11 医療機関	12 市や都の窓口
13 障害者の福祉施設	14 情報は得られていない
15 その他（ ）	

問 8 次の障害者（児）に関する市の相談窓口を知っていますか。また、それらを利用したことはありますか。（①～⑩までそれぞれ○は1つ）

	知っており、 利用したこと がある	知っていた が、利用した ことはない	知らない
①さいわい福祉センター	1	2	3
②地域活動支援センターめくるくまーる	1	2	3
③障害者就労支援室「さいわい」「あおぞら」	1	2	3
④市役所内ワークコーナー（ハローワーク窓口）	1	2	3
⑤障害者虐待防止センター（市障害福祉課）	1	2	3
⑥社会福祉協議会	1	2	3
⑦児童発達支援センターわかくさ学園発達相談 室（児童）	1	2	3
⑧教育センター（児童）	1	2	3
⑨滝山教育相談室（児童）	1	2	3
⑩当事者団体等によるピアカウンセリング等	1	2	3

問 27 今後、市行政で重点的に取り組むべきと思う施策は何ですか。（3つまで）

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1 児童の発達相談を切れ目なく受けられる体制づくり | 2 特別支援教育のいっそうの充実 |
| 3 教育と福祉の連携を強めること | 4 児童の放課後や余暇活動の充実 |
| 5 成人期の余暇活動の場づくり | 6 障害者（児）への虐待の予防 |
| 7 障害者の就労支援の充実 | 8 障害児保育の充実等による親の就労支援 |
| 9 就労系事業所の定員の拡大 | 10 重度の障害者の日中活動の充実と場所の確保 |
| 11 在宅でも医療を受けられる体制づくり | 12 グループホームの施設整備 |
| 13 バリアフリーのまちづくり | 14 障害特性に応じた情報提供 |
| 15 相談支援体制の強化 | 16 障害者への理解を深めるための講習やイベント |
| 17 研修等による支援者やボランティアの育成 | 18 その他（ ） |

東久留米市の障害福祉^{ふくししき}施策^{いけん}について、ご意見^{いけん}やご要望^{ようぼう}などがありましたら、自由^{じゆう}にご記入^{きにゆう}ください。

アンケートは以上です。ご協力^{きょうりょく}ありがとうございました。
この調査票^{ちょうさひょう}を同封^{どうふう}の返送用封筒^{へんそうようふうとう}に入れて、
令和2年^{れいわ ねん}●月●日（●）^いまでにポストへ入れてください。